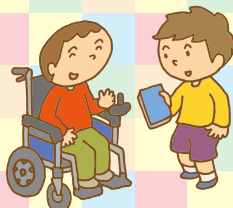


ユニバーサルデザインで、
すべての人が心地よさを描
けるまちを一緒につくろう

ユニバーサルデザインとは、子どもからおじいちゃん
おばあちゃん、外国の人などいろいろな人がくらしや
すくなるように、みんなで工夫をしたりお手伝いをし
たりすることです。
このパンフレットをきっかけに、みんながくらしやす
くなる工夫や困っている人へのお手伝いについて考え
てみてください。



奥付が入る

まちのなかで

気づく？
かな

ひらいて
みよう！

いっしょに考えよう！

ユニバーサルデザインのこと



まちは、買い物をしたり、食事をしたり、遊ん
だり、おしゃべりをしたり、休憩したり、働い
たり、さまざまな人の暮らしを支える場所です。

みんなが相手のことを思って、いろいろな工夫
やちょっとしたお手伝いをすれば、もっと多く
の人がまちに出かけやすくなります。

自分に何ができるか、いっしょに考えてみま
しょう。

板橋区

1 「ヘルプマーク」をつけている人が困っていたら、声をかけよう

2 高齢のひとが立ち止まっていたよ。扉を開けてあげられるね。

3 お仕事中的盲導犬は、さわらずに見守ろう。(じーっと見ないようにしてね。)

6 点字ブロックの上にある物を片づけると、安全に歩けるね。

4 だれでもトイレは、本当に必要なひとに使ってもらおう。

5 優先駐車場は、本当に必要なひとに使ってもらおう。

7 段差があってもお手伝いをすることで、移動できるね。

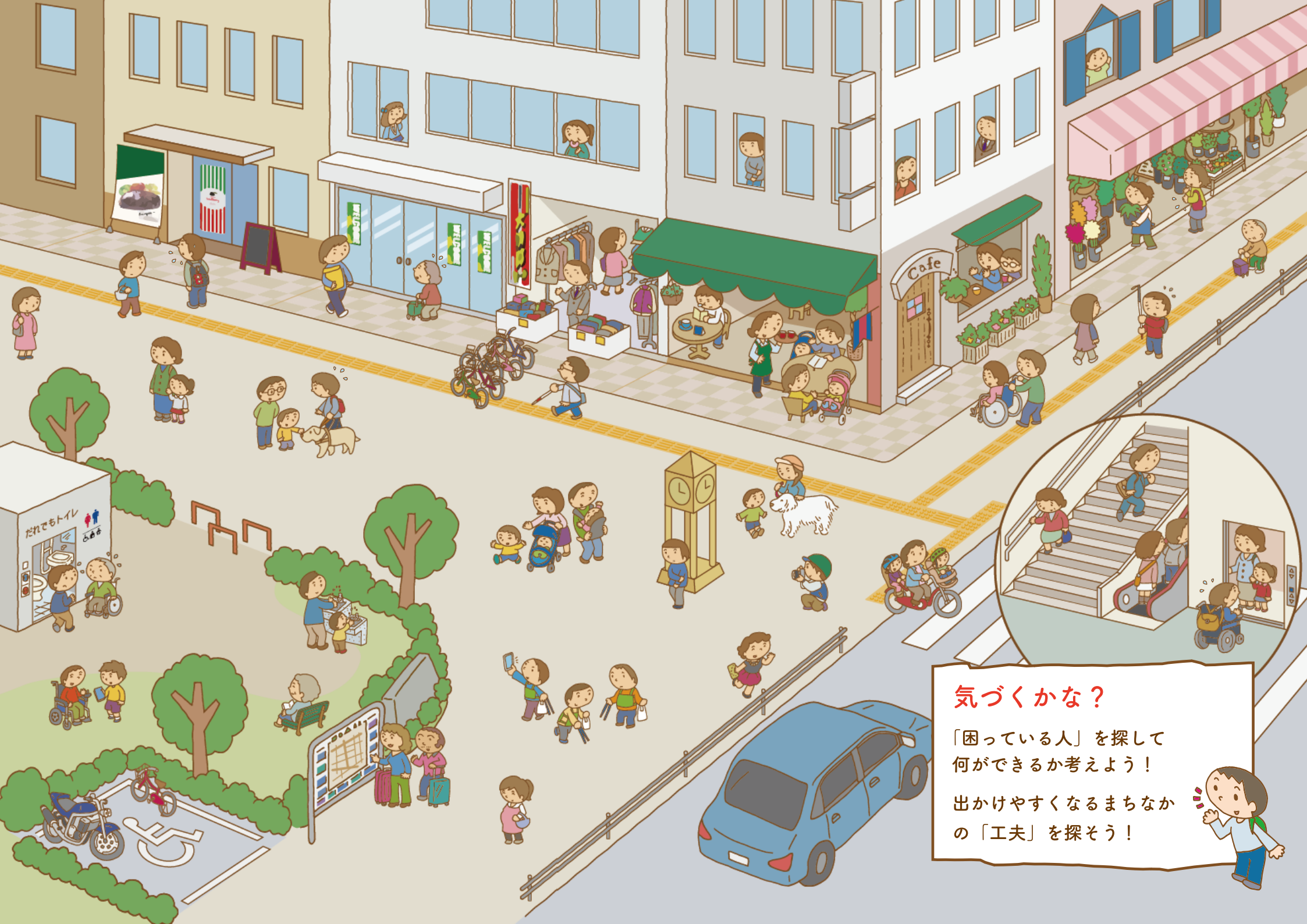
8 白杖をかかげるのは、SOSのサインだよ。ゆっくり声をかけてみよう。

9 声が聞こえにくい人とは、紙に書いてお話しできるね。

10 エレベーターでないと移動できない人もいますよ。ゆずりあえるといいね。

いくつ、気づいたかな？
きみの住むまちでは、もっとたくさんの工夫やお手伝いができるかもしれないね。
きみには何ができるかな？
家族や友達といっしょに考えてみよう。





気づくかな？

「困っている人」を探して
何が出来るか考えよう！

出かけやすくなるまちなかの
「工夫」を探そう！



ゆずりあい

エレベーター、だれでもトイレ、優先駐車場などは、必要としている方、それしか使うことができない方がいます。そのことを考えて使いましょう。

工夫

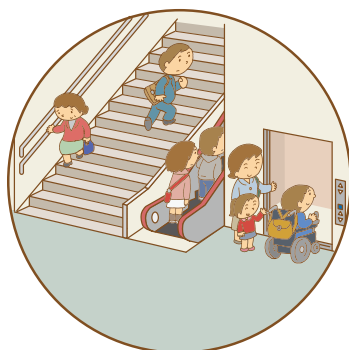
まちにはこんな工夫があるよ！



背の高さが違って、いっしょに使えるね。



言葉がわからなくても、マークや記号で伝えられることがあるよ。



階段、エスカレーター、エレベーターが近くに並んでいると自分が使いたいものを選べるね。



だれにとっても出かけたいまち、楽しいまちは、きみにとっても素敵なまち。みんながお互いを思いやれば、まちに笑顔とありがとうの気持ちがあふれ、さらに素敵なまちになるね。

気づきと声かけ

まちには「動くこと」「見ること」「聞くこと」「伝えること」「理解すること」などに困っている人がいます。きみにはどんなことができるかな？いっしょに考えて、困っている人をみかけたら声をかけてみよう。

1. 「なにかお手伝いしましょうか？」

→困っている人や迷っている人がいたら、笑顔でゆっくり、相手の顔を見て、声をかけてみましょう。



2. 「どうすればいいですか？」

→自分だけで考えずに、どのようなお手伝いができるか、聞いてみよう。

● サインに気づこう！

まちの中には、きみに何かを伝えるために、サインを出している人がいるかもしれないよ。

例) ヘルプマーク



このマークをつけたひとがいたら、思いやりの気持ちで行動しよう。

例) 白杖 SOS



白い杖をかかげるのは、困っているサインだよ。ゆっくり声をかけてみよう。

例) マタニティマーク



おなかに赤ちゃんがいるよ。思いやりの気持ちで行動しよう。